

『子どもの自己肯定感をどのように高めていくか』

1 はじめに

- (1) 「伸びる子」と「伸び悩む子」 自己肯定感～知的好奇心
- (2) 「全国学力テスト・学習状況調査」等における自己肯定感の考察

2 自己肯定感とは

- (1) 自己肯定感、自己有用感、自尊感情
- (2) 自己肯定感の高い子と低い子の特徴と原因

3 自己肯定感を高める具体的な方法

- (1) コーチングからのアプローチ 子どもへの接し方

① コーチングにおける子ども観

② 傾聴

「聞く」→「」「うなずき」「あいづち」効果

同調効果 「スマイル」効果 「アイコンタクト」

③ 承認 発達段階を踏まえる（児童期～思春期）

【子どもが嬉しい言葉】 ア行

【自己肯定感を高める言葉】 サ行

④ YOU メッセージ→I メッセージへ

「ありがとう」＋「嬉しい」

- (2) 心理学からのアプローチ

① 自発的動機付けと他発的動機付け

安心感 温かな学級→楽しい体験→認められる体験

②自己肯定感を高めるほめ方

「勇気くずし」→「勇気づけ」

「おだてる」「ほめる」「認める」の違い

プロセス評価 「頑張ってるね」→「 」

「ハーロックの実験」

「スタンフォード大学キャロル教授の実験」→「チャレンジ精神」

「人格」→「行動」 「他の子との比較」→「その子自身の成長」

③自己肯定感を高める叱り方

「怒る」と「叱る」の違い 副作用

「正しい叱り方」 子どもの個性を見極める

④「怒りスイッチ」のリセット法

⑤「甘やかす」「甘えを受け入れる」の違い

⑥「思春期の特徴」

⑦「ピットホール」の罨

(3) 脳科学からのアプローチ

①知的好奇心と自己肯定感 自己成長力

教室環境 図鑑、図書→「バーチャル意識」と「リアル体験」

②「ドーパミンによる強化学習」

③「脳の可塑性」 「脳の汎化」

(4)「教育」は「共育」

